

日本原子力学会誌「アトモス」総目次 Vol.61, Nos. 1~12(2019)

ATOMOS (Journal of the Atomic Energy Society of Japan)

No.1 (1月号)

- 巻頭言 原子力の未来のために 原子力学会が科学技術者集団としての情報発信を：櫻井よしこ, 1.
- 座談会 国家的なリーダーシップの不在が根底に「もんじゅ」の失敗を総括する：井川陽次郎, 江沼康弘, 澤崎浩昌, 林司, 柳澤務, 向和夫, 澤田哲生, 3.
- インタビュー 改めて問う「もんじゅ」は活用すべき！有馬朗人氏に聞く：有馬朗人, 14.
- 対談 高速炉は「資源を産みつつゴミ焼却も行う究極の発電炉」、将来必ず必要になる 資源と環境—今世紀末まで見通す視点を：河田東海夫, 澤田哲生, 17.
- 特別寄稿 高速炉開発の現状と展望：佐賀山豊, 22.
東海再処理工場の軌跡：山村修, 24
海水からのウラン採取技術の現状と展望：玉田正男, 26.
サンクコストの呪縛：青野由利, 28.
- 解説 六ヶ所再処理工場の現状と課題：田中治邦, 30.
日本における新型炉開発計画；持続可能社会に適合する新型炉開発：山口彰, 35.
高速炉サイクルの経済性評価—炉の建設コストと燃料サイクルコスト—：向井田恭子, 加藤篤志, 紙谷正仁, 石井克典, 40.
- 時論 私達は廃炉にどう向き合っていくべきか～高校生と考える廃炉座談会の開催を通して～：遠藤瞭, 48.
- NEWS 原子力界における最近の動き・国内, 海外情報, 50.
- コラム 日本・ベラルーシ友好訪問団：井内千穂, 56.
感謝をこめて・・・：北岡哲子, 56.
スロバキアの原発の歴史：妹尾優希, 57.
立地地域の方たちへの感謝を込めて：竹内純子, 57.
六回目を迎えて：渡辺真由, 58.
「何を食いたいかな」と小銭の管理：渡辺凜, 58.
- 解説シリーズ WEO2017と内外エネルギー情勢への示唆 (6/最終回)；世界のエネルギー需給情勢と原子力：小宮山涼一, 59.
From Editors, 63.
- 連載講座 核融合トリチウム研究最前線—原型炉実現に向けて—(7)；トリチウム蓄積：大矢恭久, 周啓来, 小林真, 64.
- Focus 国内外の原子力教育事情(1)；東京工業大学での原子力教育の取組み：小原徹, 70.
- 談話室 これからの原子力・放射線教育：鶴田隆雄, 73.
- Science Communication 学生たちの提案：岸田一隆, 75.
- 理事会だより 専門知の価値について：山口彰, 76
- 会報 学術的会合の予定, 人事公募, 新入会一覧(第30-5回理事会承認分), 誤記訂正, 編集委員会からのお知らせ
特集号論文募集, 英文論文誌(Vol.56, No.1)目次, 12月主要会務, 77.

No.2 (2月号)

- 巻頭言 温暖化問題へのソリューションを提供する日本：杉山大志, 81.
- 時論 立地地域の誇りと責任, そして覚悟：種市治雄, 82.
我が国の電力・エネルギー政策に求められる「現実感覚」：室伏謙一, 84.
ベリホフ名誉総裁, ロシア原子力の今昔を語る：千野境子, 86
- NEWS 原子力界における最近の動き・国内, 海外情報, 88.
- コラム 138億年のモグラたたき：井内千穂, 94.
トリチウム水に関するニュースへの欧州の関心：妹尾優希, 94
福島県の住民の「物語」に耳を傾ける：服部美咲, 95.

分野横断的課題：坂東昌子, 95.

2年前も今も：渡辺真由, 96.

やっぱり再エネは革命的だ：渡辺凜, 96.

特集 原子力発電所の運転期間と機器・構造物の経年劣化影響評価

(1)原子力発電所の長期運転への取り組み—高経年化への対応—：岩崎正伸, 97.

(2)機器・構造物の経年劣化事象への対応—経年劣化影響評価—：新井拓, 100.

(3)電気計装設備(ケーブル)の劣化影響評価について：石井伸弘, 103.

(4)コンクリート構造物の劣化影響評価について：島本龍, 森下友一朗, 北川高史, 107.

From Editors, 110.

Short Report 福島復興・廃炉推進に向けた学協会連絡会の取り組み～秋の大会での理事会セッションから～：企画委員会, 111.

解説 福島第一原子力発電所廃炉の技術戦略について：廃炉の道筋と戦略プラン 2018：福田俊彦, 113.

酸化物分散強化型(ODS)フェライト鋼被覆管の開発—組織制御・特性発現メカニズムを中心に—：鶴飼重治, 118.

From Abroad Scientific Wanderlust Across the Ocean—海に向こうの研究放浪記, 大西洋横断飛行編—：河野俊彦, 123.

解説シリーズ 安全かつ効率的な廃止措置に向けて(1)：我が国の原子力施設廃止措置の現状と課題について：山内豊明, 128.

最先端の研究開発 量子科学技術研究開発機構(2)：標的アイソトープ治療の研究開発：東達也, 133.

連載講座 核融合トリチウム研究最前線—原型炉実現に向けて—(8)：トリチウムプロセッシング：磯部兼嗣, 岩井保則, 138

Focus 国内外の原子力教育事情(2)：京都大学原子核工学専攻・原子核工学コース：高木郁二, 中島健, 143.

談話室 ラドン療法の治療実績と研究動向：光延文裕, 146.

カリファ大学原子力工学専攻での講義と滞在の記：島津洋一郎, 148.

会議報告 将来の原子力を担うリーダーを育成 Japan-IAEA Nuclear Energy Management School：河野裕子, 150.

Science Communication イノベーションの重要性：岸田一隆, 151.

理事会だより 創立60周年に向けて：岡嶋成晃, 152.

会告 代議員選挙について(投票のお願い), 153

会報 学術的会合の予定, 次年度会費請求のお知らせ, 日本原子力学会基金寄付者芳名一覧, 「2019年春の年会」見学会, 英文論文誌(Vol.56, No.2)目次, 1月主要会務, 155.

No.3 (3月号)

巻頭言 文明の恩恵を慎ましく受け, 拓く道へ：松浦祥次郎, 159.

NEWS 原子力界における最近の動き・国内, 海外情報, 160.

特集 これまでをふりかえり, 今後を展望する I：創立60周年を迎え, 学会は何をなすべきか

科学者の社会的責任と科学者コミュニティ：広渡清吾, 167.

日本学術会議における原子力問題への取り組み：吉村忍, 171.

福島原発災害の特質と生活再建・地域再生の課題：鈴木浩, 175.

地震学と原子力：山岡耕春, 179.

放射線防護の専門家集団としての学会を支える企画活動：吉田浩子, 182.

リスク学的发展と原子力技術の深い関係：岸本充生, 185.

60年の歩みに思うこと：井川陽次郎, 188.

原子力の危機は「民主主義のコスト」：池田信夫, 190.

原子力マネジメント学のすゝめ：上坂充, 192.

福島を通して見えてくる原子力の課題：大崎要一郎, 194.

超スマートエネルギー社会とこれからの原子力政策：柏木孝夫, 196.

原子力推進における国策民営の限界：北村俊郎, 198.

原子力発電の歴史と展望：橘川武郎, 200.

外野席から見た原子力発電業界：木下富雄, 202.

これからの原子力研究に期待すること：滝順一, 204.

原子力が提供する「価値」は何か：竹内純子, 206.

カナダ在住者からの原子力学会への期待：長崎晋也， 208.
日本の原子力対策のほころびや矛盾， 欧州取材で実感：服部尚， 210.
アセスメント科学と EBR：坂東昌子， 212.
責任ある原子力イノベーションとは：藤垣裕子， 214.
これからの原子力の「学」および「原子力界」に求められるもの：藤田玲子， 216.
原子力産業における人材確保の今昔と今後の展望：村上朋子， 218.
原子力事故・災害に対する被ばく医療の将来展望：山下俊一， 220.
原子力発電は社会に何をもたらすのか：山本隆三， 222.
何かに駆られて走ってきた：和田章， 224.

特集 世界から見る原子力発電所の安全

(1)世界の原子力発電所の安全確保：駒野康男， 松井三生， 226.

(2)日本の原子力発電所の安全確保：決得恭弘， 230.

From Editors, 232.

(3)原子力発電所の安全—社会からの問題提起：寿楽浩太， 233.

解説 人工知能技術の活用と将来展望；深層学習によるき裂進展予測のためのサロゲートモデルの構築：和田義孝， 237.

会議報告 原子力の若手と学生の対話会 in 関東 2018 開催報告：村本武司， 241.

ジャーナリストの視点 ベタ記事の裏側：柳楽未来， 242.

理事会だより 福島原発事故から 8 年，復興への取り組み：佐藤修彰， 243.

会告 2019 年度新役員候補者募集のお知らせ， 244.

会報 原子力関係会議案内，新入会一覧，次年度会費請求のお知らせ，「原子力学生国際交流事業」派遣学生募集のお知らせ，英文論文誌 (Vol.56, No.3) 目次，和文論文誌 (Vol.18, No.1) 目次，主要会務，編集後記，編集関係者一覧， 245.

No.4 (4月号)

会長あいさつ 創立 60 周年を迎え，未来を切り開こう！：駒野康男， 249.

特集 これまでをふりかえり，今後を展望する II：創立 60 周年を迎え，学会は何をなすべきか

福島第一原発事故と日本物理学会の研究者の活動：伊藤好孝， 252.

炉物理の使命～師匠と弟子の対話～：千葉 豪， 山本章夫， 254.

核融合工学のこれまでと，これから：笠田竜太， 257.

これまでを振り返り，今後を考える：片山一成， 259.

1F 事故前後における大学での核燃料研究と人材育成：宇埜正美， 261.

商用軽水炉燃料開発のこれまでとこれから：草ヶ谷和幸， 263.

放射性廃棄物の処分等の実施に向けて：田辺博三， 265.

地層処分の今後の課題に関する一考察：若杉圭一郎， 268.

コミュニケーションのある熱水カロードマップによる展望：中村秀夫， 270.

From Editors, 272.

Made in Japan の熱水力～偉大な飛躍を目指して～：三輪修一郎， 273.

未来の若者につなぐ放射線計測研究：高橋浩之， 276.

放射線挙動・遮へい分野への期待：萩原雅之， 278.

改めて考える“人間中心の設計”：佐相邦英， 280.

運転操作でのロボットとの協調：五福明夫， 282.

「加速器・ビーム科学」と「原子力」：林崎規託， 284.

加速器物理学の研究から始める原子力学への教育展開：坂本文人， 286.

日本原子力学会における社会・環境部会の意義社会・環境部会の意義：土田昭司， 288.

“社会系”の悲哀を超えて：菅原慎悦， 290.

国民世論調査から見える原子力平和利用の課題：占部逸正， 293.

若手有志による放射線防護基準の検証：福島事故後の緊急時作業員線量限度を巡って：萩野晴之， 296.

共通基盤的なデータの必要性：深堀智生， 299.

核データ測定—これまでとこれから：片淵竜也， 301.

- 異床同夢：阿部弘亨， 303.
- 先進材料の可能性を押し上げる加工技術：能登裕之， 305.
- 日本の原子力発電所の安全確保：決得恭弘， 307.
- 原子力の安全性向上のための技術開発：後藤圭太， 309.
- 日本の再処理の歴史を振り返る：大塔容弘， 311.
- これからの日本の再処理のあり方：秋山大輔， 314.
- 沸騰現象シミュレーションの来し方行く末：功刀資彰， 316.
- 総合工学の視点からの原子力工学への貢献：笠原直人， 318
- ロードマップのローリングを通じた水化学のこれから：河村浩孝， 320.
- 水化学基礎研究のこれから：室屋裕佐， 322.
- 原子力安全部会の10年間の活動を振り返る：阿部清治， 324.
- 原子力発電の安全性向上の取り組み：谷川純也， 津村真吾， 326.
- 原子力安全の中の廃棄物処分安全：前田敏克， 328.
- 安全研究と意思決定の健全な関係：村上健太， 329.
- 原子力学会設立60周年によせて一積み残し課題への対応—：柳澤務， 330.
- 新型炉分野の将来に向けて：市川健太， 333.
- リスク部会の設立とその意義について：牟田仁， 335.
- リスクの理解，共有のための部会活動について：河合勝則， 337.
- 今後の世界の原子力開発動向について：橋幸男， 339.
- 学生連絡会の活動を通して学んだこと：村本武司， 341.
- シニアネットワーク(SNW)連絡会の歩みと新たな展開に向けて：石井正則， 早野睦彦， 343
- 3Sの協働プラットフォームとしての原子力学会への期待：宇根崎博信， 345.
- 倫理委員会を持たない倫理的な学会を目指して：大場恭子， 347.
- こたえはダイバーシティと共にある：岡田往子， 349.
- スコープを拡大し，読みやすさを追求してきた：佐田務， 351.
- 福島第一原子力発電所廃炉検討委員会の取り組み：宮野廣， 353.
- 福島特別プロジェクトの活動：佐藤修彰， 三倉通孝， 布目礼子， 358
- 福島復興・廃炉推進に貢献する学協会連絡会の取り組み—被ばくとリスクコミュニケーション，トリチウム水，燃料デブリ取り出し—：宮原要， 中山真一， 360.
- 会 報 原子力関係会議案内，人事公募，2019・2020年度代議員決定，第51回(2018年度)日本原子力学会賞受賞一覧，各部会部会賞一覧，2018年度JNST賞受賞一覧，新規フェロー一覧，2018年度フェロー賞受賞者一覧，2019年度シルバー・永年会員の表彰，英文論文誌(Vol.56, No.4)目次，主要会務，編集後記，編集関係者一覧， 364.

No.5 (5月号)

- 巻 頭 言 福島から「未来を創造する力」を育む：丹野純一， 375.
- 時 論 日本の原子力と日本原子力学会の60年を振り返る：成合英樹， 376.
- 教育現場から見た福島県の震災復興：野ヶ山康弘， 378.
- NEWS 原子力界における最近の動き・国内，海外情報， 380.
- コ ラ ム 脱炭素化ビジネス：井内千穂， 386.
- 英語での放射線関連記事の一般向け配信：妹尾優希， 386.
- 風評の「一次予防」としての基礎知識：服部美咲， 387.
- 科学者のネットワーク：坂東昌子， 387.
- 七転び八起き：渡辺真由， 388.
- ナショナルリズムへの未練：渡辺凜， 388.
- 特 集 Mayak 核技術施設作業員の放射線疫学調査研究
- (1)Mayak 生産合同施設の概要とコホートの設定：岩井敏， 熊澤蕃， 仙波毅， 石田健二， 高木俊治， 389.
- (2)作業員の個人被ばく線量再構築， 392.
- (3)放射線疫学調査結果， 397.
- 解説シリーズ 最先端の研究開発 量子科学技術研究開発機構(3)：量子ビーム科学研究：佐藤隆博， 越智義浩， 403.

安全かつ効率的な廃止措置に向けて(2)；英国における原子力廃止措置の経験：キース フランクリン，山内豊明，408.

Short Report 厚板鋼材のレーザー切断技術—廃炉の時代の先端技術開発：田村浩司，遠山伸一，413.

From Editors, 415.

連載講座 核融合トリチウム研究最前線(9)；トリチウム安全閉じ込め：岩井保則，枝尾祐希，磯部兼嗣，416.

談話室 リケジョの思い(3)；つまずきは，扉になる：口町和香，421.

Focus 国内外の原子力教育事情(3)；東京大学原子力専攻(専門職大学院)の概要：長谷川秀一，422.

視点<社会>を語る (1)社会学者は社会を語れているのか：齋藤圭介，425.

理事会だより 本年度の予算方針 留意事項や重点項目：三倉通孝，426

会告 2019年度新役員候補者投票のお願い，427.

日本原子力学会「2019年秋の大会」発表および参加申込受付のご案内，429.

会報 原子力関係会議案内，人事公募，新入会一覧，寄贈本一覧，訃報，日米欧原子力国際学生交流事業派遣学生レポート「University of Michigan 滞在記」梅原裕太郎，英文論文誌(Vol.56, No.5)暫定版目次，主要会務，編集後記，編集関係者一覧，431

第51回(2018年度)日本原子力学会賞受賞概要(後付)

No.6 (6月号)

巻頭言 中間貯蔵事業と立地地域：宮下宗一郎，435.

時論 太陽光発電業界と原発業界が共存する方法を考える：宇佐美典也，436.

知る立場から知らせる立場へ：木越康二，438.

NEWS 原子力界における最近の動き・国内，海外情報，440.

特集 福島第一事故由来物質に対する環境モニタリング手法の最先端

(1)福島第一原発事故で放出した放射性粒子：佐藤志彦，446.

(2)福島第一原子力発電所事故に伴う海底土広域測定手法：大西世紀，鎌田 創，浅見光史，449.

(3)事故7年後の福島の放射線分布状況および環境モニタリング技術の最前線：眞田幸尚，453.

解説 原子力防災の現状と課題：荒木真一，土信田法男，原口弥生，駒野康男，土田昭司，457.

From Editors, 461.

中国における原子力開発動向；原子力発電動向を中心に：渡辺搖，江川弘和，462.

中性子を用いた次世代がん放射線治療：ホウ素中性子捕捉療法(BNCT)；原子炉から小型加速器へ：櫻井良憲，熊田博明，鬼柳善明，469.

コラム 浜岡原子力発電所を訪ねて：井内千穂，474

ソーシャルインフルエンサーと原発：妹尾優希，474.

『天文学的』なお値段：野間美智子，475.

「選択」を引き受けて生きるということ：服部美咲，475.

市民，そして中・高校生と共に：坂東昌子，476.

エネルギー利用の心理学：渡辺凜，476.

解説シリーズ 最先端の研究開発 量子科学技術研究開発機構(4)；「量子生命科学」の発進：藤巻秀，五十嵐龍治，高草木洋一，安達基泰，横谷明德，玉田太郎，河野秀俊，鹿園直哉，今岡達彦，赤松憲，小西輝昭，山田真希子，八幡憲明，477.

安全かつ効率的な廃止措置に向けて(3/最終回)；米国の原子力発電所廃止措置の教訓：コリン・オースティン，山内豊明，482.

連載講座 核融合トリチウム研究最前線(10)；炉材料表面および内部のトリチウム分布：大塚哲平，489.

報告 災害に備えるために必要となる原子力関係者の倫理(その1)；倫理規程制定・改定の歴史と2018年改定のポイント：倫理委員会，494.

Focus 国内外の原子力教育事情(4)；東京大学原子力国際専攻での教育の取組み：藤井康正，498.

日々是好日～福島浜通りだより～ (1)；ほっと安らぐ村の暮らし：吉川彰浩，500.

談話室 リケジョの思い(4)；スパゲッティをゆでながら：口町和香，501.

視点<社会>を語る (2)；<社会>を語る二つのアプローチ：齋藤圭介，502.

理事会だより 2019年春の年会「理事会セッション」を終えて：中島健，503.

会 告 「第9回総会」のご通知, 504.

会 報 原子力関係会議案内, 人事公募, 共催行事, AESJ-NEWS 配信のご案内, 「2019年春の年会」学生ポスターセッション受賞者一覧, 和文論文誌 (Vol.18, No.2) 目次, 英文論文誌 (Vol.56, No.6) 目次, 主要会務, 編集後記, 編集関係者一覧, 505

No.7 (7月号)

巻 頭 言 未知への一步が, 歴史を築きあげてきた: 鈴木光司, 509.

時 論 個々の原発問題に対する意識の差: 小澤杏子, 510.

NEWS 原子力界における最近の動き・国内, 海外情報, 512

特 集 クリアランスの現状と課題

(1) クリアランスにおける線量規準の考え方: 荻野晴之, 518.

(2) わが国におけるクリアランスの現状: 石井公也, 522.

(3) 物品搬出ガイドラインとクリアランス: 橋本周, 525.

(4) IAEA 安全指針 RS-G-1.7 改訂の動向と主な論点: 服部隆利, 529.

(5) 福島第一原子力発電所における低線量がれきの限定的な再利用の考え方: 島田太郎, 三輪一爾, 武田聖司, 531.

解 説 電力系統の安定運用のために: 再生可能エネルギー大量導入時の基幹系統への影響: 北内義弘, 535.

コ ラ ム パンドラの箱はとっくに開いている: 井内千穂, 540.

ウラン探鉱とスロバキア: 妹尾優希, 540.

安くなるのかもしれないけれど……: 野間美智子, 541.

過去を責めず, 未来に臨む: 服部美咲, 541.

宇宙のロマン: 坂東昌子, 542.

粛々と働くだけでは, 状況は変えられない: 渡辺凜, 542.

解説シリーズ 最先端の研究開発 量子科学技術研究開発機構(5); 核融合エネルギーの実用化に向けた研究開発の進展 (その1): 竹永秀信, 布谷嘉彦, 中本美緒, 平塚淳一, 池田亮介, 林巧, 河村繕範, 543.

連載講座 核融合トリチウム研究最前線(11); トリチウム管理: 原正憲, 赤丸悟士, 中山将人, 549.

報 告 災害に備えるために必要となる原子力関係者の倫理(その2); 原子力安全のための組織文化と倫理: 倫理委員会, 554.

Focus 国内外の原子力教育事情(5); 日米大学・大学院比較(北海道大学 vs. Purdue 大学): 三輪修一郎, 558. From Editors, 561.

談 話 室 教えて! 専門家の皆さん 統計分析のイロハービュフォンの針: 服部杏菜, 石井伸弥, 562.

リケジョの思い(5); もうひとりの自分: 口町和香, 564.

日々是好日~福島浜通りだより~ (2); おすそ分けの連鎖: 吉川彰浩, 565.

視点(社会)を語る (3); <社会>がさきか, <個人>がさきか: 齋藤圭介, 566

理事会だより 会員サービスの向上への取り組み: 高橋信, 567.

会 報 原子力関係会議案内, 新入会一覧, 寄贈本一覧, 英文論文誌 (Vol.56, No.7) 目次, 主要会務, 編集後記, 編集関係者一覧, 568.

第9回総会資料(後付)

No.8 (8月号)

巻 頭 言 SDGs とデジタル革命が迫る科学技術行政の変革: 有本建男, 571.

時 論 原子力発祥の地から, 今考えていること: 山田修, 572.

「社会の中の予測」という視点: 山口富子, 574

NEWS 原子力界における最近の動き・国内, 海外情報, 576.

解 説 電力システムコスト: OECD/NEA の研究; プラントレベルのコスト評価を超えて: 松井一秋, 582.

不確実なリスクに備える組織文化: 福島第一原子力発電所事故の教訓を踏まえて: 久郷明秀, 587.

生徒の意欲を喚起する授業デザインとは: 福島の震災復興期を考える: 野ヶ山康弘, 592.

重粒子線がん治療装置の開発: 日本から世界へ: 平田寛, 萩原剛, 長本義史, 597.

コ ラ ム 「あつまれ! げんしりょくむら」閉鎖に思う: 井内千穂, 602.

利那的なマシンへ：佐田務, 602.
雲行きの怪しいモホフツェ原子力発電所 新規原子炉の運転開始：妹尾優希, 603.
学問のサラダボウル：鳥居千智, 603.
避難指示という「自由の制限」を考える：服部美咲, 604.
貴重なデータはその時しか残せない：坂東昌子, 604.
令和時代のエネルギー問題：マイケル瑛美, 605.
凍天：渡辺真由, 605.

解説シリーズ 電子顕微鏡の現状と将来展望(1)；走査透過電子顕微鏡および電子エネルギー損失分光法による材料評価：
木本浩司, 606.

From Editors, 609.

サイエンス 原子核の「かたち」から核図表を見る：中務孝, 江幡修一郎, 鷲山広平, 610.
報告 東京の高校生, 福島第一原子力発電所構内を視察：井内千穂, 616.
Focus 国内外の原子力教育事情(6)；カナダ・マクマスター大学における原子力工学教育：長崎晋也, 622.
講演 IAEA の理念と任務～「平和と開発のための原子力」を支える人材～：マリーアリスヘイワード, 624.
談話室 リスク認知は状況で変わる 対象への不安は知識不足のせいではない：佐田務, 626
リケジョの思い(6)；がんばれ, 科学の自分：口町和香, 628.
日々是好日～福島浜通りだより～ (3)；冬来たりなば春遠からじ：吉川彰浩, 629.
視点〈社会〉を語る (4)；社会学者は、〈社会〉を記述するべきか, 考察するべきか：齋藤圭介, 630.
理事会だより 理事会活動をふりかえって：土田昭司, 631.
会報 原子力関係会議案内, 新入会一覧, 寄贈本一覧, 訃報, 2019 年度役員一覧, 第 52 回(2019 年度)学会賞受賞候補者推薦募集, 2019 年秋の大会見学会ご案内, 英文論文誌 (Vol.56, No.8) 目次, 主要会務, 編集後記, 編集関係者一覧, 632.

No.9 (9月号)

巻頭言 迫り来るシンギュラリティと人類の未来：松田卓也, 637.
新会長あいさつ 原子力の「再構築期」を目指して：岡嶋成晃, 638.
時論 Unknown unknowns・信頼・中間集団：開沼博, 640.
脱炭素化に向けた再生可能エネルギーの限界と原子力の必然性；人新世 (Anthropocene)：松井一秋, 642.
NEWS 原子力界における最近の動き・国内, 海外情報, 644.
解説 最近の原子力動向：第 3 世代炉が本格化；露中台頭の中, SMR 開発に注目：小林雅治, 650.
竜巻に対する原子力発電所の設計条件について；設計竜巻風速などの設定における日米の考え方の比較：江口讓, 656.
核分裂生成物と燃料デブリの比較；福島第一原子力発電所の廃炉作業時に留意すべき核分裂生成物の影響：「シビアアクシデント時の核分裂生成物挙動」研究専門委員会, 661.
From Editors, 666.
コラム 蓄エネ技術が着々と力を蓄えている？：井内千穂, 667.
スロバキアとオーストリア間の国際送電：妹尾優希, 667.
基礎研究をたくさんしたい：鳥居千智, 668.
「考える」ことを諦めない：服部杏菜, 668.
ダークをホープへ転じる旅：服部美咲, 669.
物理の時間・生物の時間：坂東昌子, 669.
好奇心と科学：マイケル瑛美, 670.
無関心と寛容：渡辺真由, 670.
解説シリーズ 電子顕微鏡の現状と将来展望(2)；電子線ホログラフィーによる材料解析：谷垣俊明, 671.
最先端の研究開発 量子科学技術研究開発機構(6)；核融合エネルギーの実用化に向けた研究開発の進展 (その 2)：松本太郎, 東島智, 675.
連載講座 核融合トリチウム研究最前線(12/最終回)；トリチウム研究の将来展望：小西哲之, 680.
報告 環境科学に関わる学生・若手研究者たちが考える保健物理・環境科学研究：三輪一爾, 寺阪祐太, 越智康太郎, 普天間章, 佐々木美雪, 廣内淳, 687.

Focus 国内外の原子力教育事情(7/最終回)；イタリア・ミラノ工科大学の場合：二ノ方壽， 692.
日々是好日～福島浜通りだより～ (4)；紡いでいく暮らし：吉川彰浩， 695.
視点(社会)を語る (5)；社会を外側から語るか，内側から語るか：齋藤圭介， 696.
理事会だより 2019年度(令和元年)新たな体制で活動開始：近江正， 697.
会 報 原子力関係会議案内，新入会一覧，共催行事，人事公募，主要会務，編集後記，編集関係者一覧， 698.

No.10 (10月号)

巻 頭 言 日本の産業の未来と原子力：安井至， 701.
時 論 学術会議報告「我が国の原子力発電所の津波対策」：成合英樹， 702.
未来を背負っていく私たちにできることは何か：上野和花， 704.
NEWS 原子力界における最近の動き・国内，海外情報， 706.
解 説 原子炉ニュートリノの科学と技術の進展；不毛のニュートリノから原子炉炉心監視まで：吉田正， 711.
From Editors， 715.
プランク定数にもとづくキログラムの新しい定義；130年ぶりの定義改定とその影響：藤井賢一， 716.
コ ラ ム きちっとしたエビデンスとワンフレーズ：井内千穂， 721.
ポーランドを訪れて：妹尾優希， 721.
科学者と市民：鳥居千智， 722.
甲状腺検査の「理解しがたさ」に抗う：服部美咲， 722.
トランスサイエンス：坂東昌子， 723.
グローバル化での信頼関係：マイケル瑛美， 723.
解説シリーズ 電子顕微鏡の現状と将来展望(3/最終回)；先進原子分解能電子顕微鏡による材料局所構造解析：柴田直哉，
724.
最先端の研究開発 量子科学技術研究開発機構(7/最終回)；核融合エネルギーの実用化に向けた研究開発
の進展(その3)：谷口正樹，坂本慶司，春日井敦，飛田健次，松本太郎， 728.
連載講座 基礎から分かる未臨界(1)；今なぜ未臨界か：遠藤知弘，辻本和文，山本章夫， 734.
報 告 高速炉開発に関する技術戦略；新型炉部会「高速炉戦略ロードマップ検討会」提言：笠原直人， 739.
Short Report 躍動するロシアの原子力開発・国際展開；ATOMEXPO-2019参加および発電所視察：廣川直機， 744.
談 話 室 リケジョの思い(7)；議論を学ぶ，演習授業：口町和香， 746.
日々是好日～福島浜通りだより～ (5)；丁寧さと良き一日：吉川彰浩， 747.
視点(社会)を語る (6)；社会学の歴史をめぐる3つ目の立場：齋藤圭介， 748.
新刊紹介 「爆発作用を受けるコンクリート建造物の安全性評価」，「衝突作用を受ける建造物の局所破壊に関する評価ガ
イドライン」：白井孝治， 749.
ジャーナリストの視点 冷静な議論・判断を呼び起こすには：石戸諭， 750.
理事会だより 放射線利用を考える：玉田正男， 752.
会 報 原子力関係会議案内，共催行事，訃報，英文論文誌(Vol.56, No.9-10)目次，和文論文誌(Vol.18, No.3)目次，主要
会務，編集後記，編集関係者一覧， 753.

No.11 (11月号)

インタビュー 核エネルギーの利用こそが，わが国の将来に希望を与える 松浦祥次郎氏に聞く：松浦祥次郎， 757.
NEWS 原子力界における最近の動き・国内，海外情報， 763.
解 説 海外諸国と日本の廃止措置に係る仕組みについて：山内豊明， 769.
From Editors， 774.
分裂片が核分裂生成物となるまで；即発中性子・ガンマ線放出：奥村森， 775.
コ ラ ム 「核燃料サイクル計画」映画制作プロジェクト：井内千穂， 780.
仙台市を訪れて(1)：妹尾優希， 780.
物理の女はかっこいいの？：鳥居千智， 781.
「五者であれ」を肝に銘じる：服部美咲， 781.
リー・ラッセル博士：坂東昌子， 782.
原子力発電に対するイメージ：マイケル瑛美， 782.

- 連載講座 基礎から分かる未臨界(2)；未臨界炉の中性子増倍：西原健司，千葉豪，783.
- 新刊紹介 「腐植物質分析ハンドブック 第2版：標準試料を例にして」：土肥輝美，787.
- サイエンス 低線量率放射線影響における幹細胞競合の重要性；腸管オルガノイドを用いた幹細胞競合研究：藤通有希，788.
- 報 告 我が国における大学等核燃およびRI研究施設の在り方について：「原子力アゴラ」調査専門委員会 大学等核燃およびRI研究施設検討・提言分科会，793.
- 今後の高速炉サイクル研究開発；原子力機構の取組：早船浩樹，前田誠一郎，大島宏之，798.
- Short Report 高性能簡易型霧箱の開発とそれを利用した放射線教育の普及活動：戸田一郎，804.
- 新刊紹介 「放射線の生体影響と物理」：泉佳伸，806.
- Short Report 原子力をいかに物語として語るか；PIME2019—他産業の経験に学ぶ：和田裕子，807.
- 日々是好日～福島浜通りだより～ (6)；しあわせと叫びたい：吉川彰浩，810.
- 理事会だより 福島環境再生を目指して：布目礼子，811.
- 日本原子力学会「2020年春の年会」発表および参加申込受付のご案内，812.
- 会 報 原子力関係会議案内，「2019年秋の大会」学生ポスターセッション受賞者一覧，英文論文誌(Vol.56, No.11)目次，10月主要会務，814.

No.12 (12月号)

- 巻 頭 言 IoE(Internet of Energy)社会のエネルギーシステム：浅野浩志，817.
- 時 論 我が国の縮原発政策と将来の電力供給：田中治邦，818.
- NEWS 原子力界における最近の動き・国内，海外情報，820.
- 特 集 役に立つ放射線；電子線(EB)利用と産業利用(滅菌・滅菌)
- (1)電子線(EB)照射を利用した実用技術：鷺尾方一，826.
- (2)医療機器・医薬品等の電子線滅菌：山瀬豊，828.
- (3)飲料用PETボトルの電子線滅菌技術：中俊明，西納幸伸，西富久雄，833.
- 解 説 社会課題への貢献に向けた学会の役割；2019年秋の大会セッションから：岡嶋成晃，小宮山涼一，山口彰，駒野康男，土田昭司，836.
- コ ラ ム AIに最終処分場を決めてもらう？：井内千穂，840.
- 仙台市を訪れて(2)；震災後の松島の復興活動：妹尾優希，840.
- 物理学科のOCや講義でよく言われること：鳥居千智，841.
- 新生Jヴィレッジの象徴するもの：服部美咲，841.
- 刷り込みとリテラシー：坂東昌子，842.
- 将来を真剣に考える：マイケル瑛美，842.
- 解説シリーズ 最先端の研究開発 日本原子力研究開発機構(1)；1Fの廃炉と環境回復をめざして(1)：野田耕一，野崎信久，小川徹，山田知典，843.
- わが国の電力市場の全体像と今後の原子力発電(1)；わが国電力市場の全体像：服部徹，847.
- サイエンス 核分裂発見80周年；混乱，高揚そして沈黙までの7年間：吉田正，852.
- From Editors，856.
- 連載講座 基礎から分かる未臨界(3)；未臨界度測定のいろは：遠藤知弘，左近敦士，857.
- 報 告 米国原子力発電所の最近のパフォーマンス；既存炉を最大限に有効活用：大野薫，863.
- アンケートまとめ 「原子力をめぐる動向や今後」を記事化；学会誌アンケート結果のまとめ：小林容子，佐田務，867.
- 談 話 室 原子力の新卒採用；学生に伝えたい“やりがい”：坂上千春，中村真紀子，870.
- IAEA インターンシップ体験記；世界トップレベルの場での国際感覚の醸成：福田貴齊，三成映理子，871.
- リケジョの思い(8)；知らないことを調べる習慣：口町和香，873.
- 日々是好日～福島浜通りだより～ (7)；共に歩いている：吉川彰浩，874.
- 理事会だより 学会における人材育成，教育委員会の紹介：宇埜正美，875.
- 会 報 学術的会合の予定，人事公募，新入会一覧，2020年フェロー候補推薦募集，日米欧原子力国際学生交流事業派遣学生レポート「IPP滞在記」遠藤理帆，英文論文誌(Vol.56, No.12)目次，和文論文誌(Vol.18, No.4)目次，11月主要会務，876.

総目次・著者名索引(Vol.61, Nos.1~12)(後付)

日本原子力学会誌「アトモス」総目次 Vol.62, Nos. 1~12(2020)

ATOMOS (Journal of the Atomic Energy Society of Japan)

No.1 (1月号)

- 巻頭言 ドキュメンタリーによる意識改革：矢座孟之進, 1.
- 時論 社会科学と科学的特性マップ：西川雅史, 2.
無罪判決と原子力安全：佐治悦郎, 4.
- NEWS 原子力界における最近の動き・国内, 海外情報, 6.
- 特集 役に立つ放射線：医療への利用
(1)高精度放射線がん治療技術と医学物理士の役割；理工系研究者の新たなキャリアパス：西尾禎治, 12.
(2)放射線治療の高度化と医学物理士：中川恵一, 野沢勇樹, 16.
(3)中性子捕捉療法のためのホウ素薬剤研究開発の進展；ホウ素薬剤が今後の適応疾患拡大の鍵を握る！：中村浩之, 18.
From Editors, 22.
- 解説 地層処分システムの性能を評価するための熱力学データベースの整備；OECD/NEA の TDB プロジェクトと国内外の整備状況：北村暁, 23.
- コラム イギリスの高校生たちが見た福島：井内千穂, 29.
グレッタ・トゥーンベリさんの国連スピーチに対する各国の医学生の反応：妹尾優希, 29.
竹のようにになっているだろうか？：鳥居千智, 30.
「嫌な空気」を晴らして進む：服部美咲, 30.
科学の心-チェルノブイリの教訓：坂東昌子, 31.
デジタル世代の責任：マイケル瑛美, 31.
- 解説シリーズ わが国の電力市場の全体像と今後の原子力発電(2)；電力市場と原子力発電の収支：服部徹, 32.
最先端の研究開発 日本原子力研究開発機構(2)；1F の廃炉と環境回復をめざして(2)：佐藤優樹, 川瀬啓一, 飯島和毅, 小林卓也, 37.
- 連載講座 基礎から分かる未臨界(4)；臨界安全と未臨界：山根祐一, 42.
- Short Report FORATOM の主張にみる欧州の低炭素社会実現に向けた原子力の必要性：大野薫, 47.
- 日々是好日～福島浜通りだより～ (8)；当たり前の日常がそこにある：吉川彰浩, 49.
- 視点(社会)を語る (7)；社会調査に協力することのメリット/デメリット：齋藤圭介, 50.
- 理事会だより 秋の大会理事会セッション報告：中山真一, 51.
- 会報 原子力関係会議案内, 新入会一覧, 主催行事案内, 日本原子力学会 基金寄付者芳名一覧, 英文論文誌 (Vol.57, No.1)目次, 主要会務, 編集後記, 編集関係者一覧, 52.

No.2 (2月号)

- 巻頭言 次世代に福島の課題を先送りしない責任：万福裕造, 55.
- 時論 高レベル放射性廃棄物の地層処分～NUMO の対話活動の取組み～：高橋徹治, 56.
一般人が見た北欧視察から見えてきた日本の課題：石原孝子, 58.
- NEWS 原子力界における最近の動き・国内, 海外情報, 60.
- 解説 比較を含む定量情報とリスクコミュニケーションーより良い意思決定を支援するためにー：桑垣玲子, 菅原慎悦, 65.
ネット・ゼロ排出に向けたエネルギー需給システムの展望：加藤悦史, 70.
技術開発に倫理を組み込むこと：人工知能の事例から；倫理委員会セッション「技術の現場と倫理との相互作用ー AI 技術を例に」：久木田水生, 74.
- コラム 地層処分先進地に学ぶ：井内千穂, 77.
HBO ドラマシリーズとチェルノブイリ：妹尾優希, 77.
「正しいこと」を凶器にしないために：服部美咲, 78.

GSS：大シーソー模型：坂東昌子，78.

解説シリーズ わが国の電力市場の全体像と今後の原子力発電(3/最終回)：電力市場における原子力発電への支援策：服部徹，79.

サイエンスよみもの 気候予測データを用いた太陽光・風力発電の資源予測—2050年以降の発電資源—：大竹秀明，84.

連載講座 基礎から分かる未臨界(5)：1F燃料デブリの臨界近接監視手法の開発：林大和，加納慎也，和田怜志，89.

報告 使用済燃料対策のIAEA国際会議(教訓を活かす)—傾向分析と最優秀若手研究者賞受賞—：三枝利有，岡村知拓，朝野英一，94.

Short Report OECD/NEAのTCOFFプロジェクトの概要：倉田正輝，99.

私の主張 原子炉廃止措置の理想，解体せず再活用が最善：西村昭彦，102.

談話室 気候変動と原子力の役割に関するIAEA国際会議：尾本彰，日置一雅，104.

リケジョの思い(9)；冬の不調に対処する：口町和香，106.

日々是好日～福島浜通りだより～ (9)；活かされている震災の繋がり：吉川彰浩，107.

理事会だより ホームページのリニューアルについて：小山正史，108.

会報 原子力関係会議案内，共催行事，次年度会費請求のお知らせ，「2020年春の年会」見学会案内，英文論文誌(Vol.57, No.2)目次，主要会務，編集後記，編集関係者一覧，109.

No.3 (3月号)

巻頭言 科学技術と法の協働にむけて：中村多美子，113.

時論 原子力災害と「いのちの保全」—哲学の視点から—：一ノ瀬正樹，114.

NEWS 原子力界における最近の動き・国内，海外情報，116.

特集 「「福島第一原子力発電所廃炉検討委員会」現地状況および活動報告」—福島第一原子力発電所廃炉検討委員会

(1)福島第一原子力発電所廃炉作業の現状：鬼束俊一，121.

(2)福島第一原子力発電所の廃炉のための遠隔技術：浅間一，125.

(3)英知事業・国際協力の取り組み：岡本孝司，127.

From Editors, 31.

(4)廃炉検討委員会の取り組み—活動と成果：宮野廣，132.

「SMR(Small Modular Reactor)をめぐる状況と課題」—炉物理部会

(1)SMR開発の展望：小原徹，137.

(2)東芝エネルギーシステムズ(株)における小型炉の開発：浅野和仁，139.

(3)日立GEニュークリア・エナジーにおける取り組み状況：木藤和明，141.

(4)三菱重工におけるSMR開発の取り組み：木村芳貴，143.

コラム 温暖化対策のもやもや：井内千穂，145.

HBOドラマシリーズとチェルノブイリ(2)：妹尾優希，145.

福島の処理水問題への“compassion”：服部美咲，146.

人生最大のプレゼント：坂東昌子，146.

報告 「安全目標」再考；我が国でのあり方を問う：山口彰，菅原慎悦，佐治悦郎，147.

2002年地震本部の見解に信頼性はあったのか—三陸沖から房総沖の地震活動長期評価の功罪—：吉田至孝，153.

連載講座 基礎から分かる未臨界(6)；加速器駆動システムにおける未臨界面度監視：方野量太，山中正朗，158.

談話室 Lounge THE BATTLE FOR FUKUSHIMA'S REPUTATION：Steve Terada，163.

新刊紹介 原子力発電世論の力学：佐田務，165.

談話室 「世界原子力大学夏季研修(WNU-SI)」2020年日本開催若手参加支援にむけて：桜井久子，166.

日々是好日～福島浜通りだより～ (10)；実り，味わう秋：吉川彰浩，167.

視点<社会>を語る (8)；国際比較調査の面白さと危うさ：齋藤圭介，168.

ジャーナリストの視点 原発が使えるうちに新時代へ一歩を：村山知博，169.

理事会だより 福島9年，福島への学会の取り組み：三倉通孝，170.

会告 2020年度新役員候補者募集のお知らせ，171.

会報 原子力関係会議案内，共催行事案内，新入会一覧，次年度会費請求のお知らせ，「原子力学生国際交流事業」派遣学生募集，英文論文誌(Vol.57, No.3)目次，和文論文誌(Vol.19, No.1)目次，主要会務，編集後記，編集関係者一

No.4 (4月号)

- 巻頭言 令和の誓い：我が国の原子力平和利用と核物質管理の進展を！：千崎雅生, 177.
- 時論 エネルギー政策のためのエビデンス；「生産」と「輸入」に関する一考察：杉山昌広, 178.
- NEWS 原子力界における最近の動き・国内, 海外情報, 180.
- 特集 「深地層の研究施設におけるこれまでの成果と今後への期待」—バックエンド部会活動報告
(1)原子力機構における深地層の研究施設計画の成果の概要：仙波毅, 186.
(2)原環センターにおける深地層の研究施設を活用した研究開発について：小林正人, 191.
(3)電力中央研究所における深地層の研究施設を活用した研究開発について：幡谷竜太, 田中靖治, 長谷川琢磨, 窪田健二, 195.
(4)海外施設での共同研究例と今後への期待：澁谷早苗, 藤崎淳, 199.
- 解説 送配電設備に対する防災・減災対策の現状と課題；激甚化する台風災害への対応：朱牟田善治, 石川智巳, 203.
新検査制度の本格運用に向けた大飯発電所の対応状況について：榎本晋嗣, 208.
放射線を駆使したバイオマス由来機能材料の開発；放射線グラフト重合と多成分連結反応の融合による新潮流：覚知亮平, 212.
- コラム NIMBY なごみの行方：井内千穂, 217.
立場の違いによって生じる相互理解の難しさ：上野和花, 217.
広島高裁, 伊方3号の運転を差し止め：佐田務, 218.
オーストリア, スロバキア, チェコの原発三国志：妹尾優希, 218.
知る・共有する・議論する：服部杏菜, 219.
「たれば」がふさわしからぬとき：服部美咲, 219.
- 連載講座 核セキュリティ入門(1)；核セキュリティとは何か？：宇根崎博信, 220.
基礎から分かる未臨界(7)；動力炉(BWR)での未臨界度監視手法の開発：田代祥一, 225.
- Short Report IAEA 総会に参加して～ブース展示と幹部懇談～：Liu Daniel, 230.
- 談話室 リケジョの思い(10)；新学科生に幸あれ：口町和香, 232.
日々是好日～福島浜通りだより～ (11)；ふくしまで遊ぶ：吉川彰浩, 233.
- 理事会だより 本年度の予算方針について：川村慎一, 234.
- 会報 原子力関係会議案内, 人事公募, 次年度会費請求のお知らせ, 2020年度新規フェロー, 2019年度学会賞受賞一覧, 各部会部会賞一覧, 2019年度JNST賞受賞一覧, 2019年度フェロー賞受賞者一覧, 2020年度シルバー・永年会員一覧, 英文論文誌(Vol.57, No.4)目次, 主要会務, 編集後記, 編集関係者一覧, 235.

No.5 (5月号)

- 巻頭言 コロナウイルスへの既視感：神里達博, 247.
- 時論 ドイツの再エネ欺瞞はどこまで続けられるか？：小野章昌, 248.
共同通信記事「安全対策・維持・廃炉に13兆円」から見たこと：金氏顯, 250.
環境への行動として, 地層処分に向き合う：鈴木早苗, 252.
- NEWS 原子力界における最近の動き・国内, 海外情報, 254.
- 特集 「レーザーの特徴を利用した研究開発Ⅳ」—東京大学弥生研究会—原子・分子の分光分析技術とその応用
(1)kW級CWレーザーを用いた表面クリーニング技術の開発と除染適用の試み：藤田和久, 稲垣博光, 豊澤一晃, 高原和弘, 移川隆行, 藤田啓恵, 山田正明, 沖原伸一郎, 259.
(2)過酷環境下での遠隔レーザー分析技術：大場弘則, 若井田育夫, 平等拓範, 263.
(3)レーザー法による原子炉厚板鋼材切断技術の開発：田村浩司, 遠山伸一, 268.
- 解説 集団思考(groupthink)とは何か？複合集団における集団思考の可能性：松井亮太, 272.
- コラム 「核のごみ」の最終処分に関する対話型全国説明会：井内千穂, 277.
困るのは未来の人？：上野和花, 277.
高校2年生になった今の私の問題意識：小澤杏子, 278.
プラハ共産主義博物館を訪れて：妹尾優希, 278.
私にとっての復興：服部杏菜, 279.

- 「福島復興に責任をとる」ということ：服部美咲, 279.
- 解説シリーズ 最先端の研究開発 日本原子力研究開発機構(3)；原子科学の最先端を拓く：リカルド・オルランディ, 廣瀬健太郎, 矢板毅, 山上浩志, 家田淳一, 神戸振作, 石川法人, 280.
- 連載講座 基礎から分かる未臨界(8/最終回)；未臨界実験が何に役立つのか：山本俊弘, 285.
- 報告 廃炉国際ワークショップ(FDR2019)報告—福島 未踏領域への挑戦を目指して—：FDR2019 組織委員会, 290.
- 日々是好日～福島浜通りだより～ (12/最終回)；こころ戻り, 歩みだす：吉川彰浩, 293.
- 視点(社会)を語る (9)；学生にとって, 社会調査の魅力とは何か：齋藤圭介, 294.
- 理事会だより ダイバーシティの推進について：藤澤義隆, 295.
- 会 告 2020 年度新役員候補者投票のお願い, 296.
日本原子力学会「2020 年秋の大会」発表および参加申込受付のご案内, 298.
- 会 報 原子力関係会議案内, 人事公募, 共催行事, 英文論文誌 (Vol.57, No.5) 目次, 主要会務, 編集後記, 編集関係者一覧, 300.
- 第 52 回(2019 年度)日本原子力学会賞受賞概要(後付)

No.6 (6月号)

- 巻 頭 言 ふくしまの復興の取り組みから学ぶもの：小沢喜仁, 303.
- 時 論 原子力事業は「普通」という意識：村上朋子, 304.
- NEWS 原子力界における最近の動き・国内, 海外情報, 306.
- 特 集 変動性再エネの導入増に伴う CO₂ 削減と電力安定供給の課題：中垣隆雄, 312.
- コ ラ ム 新型コロナウイルスの情報錯綜と不安：井内千穂, 320.
同情と共感：上野和花, 320.
期限 2 年, 汚染水処理問題をどうするのか：小澤杏子, 321.
OECD 各国の医師の男女比を調査して見えてきたこと：妹尾優希, 321.
行動することを躊躇する時, 幼子を思い出す：服部杏葉, 322.
今・このために過去と世界に学ぶ：服部美咲, 322.
- 報 告 可逆性を担保する回収可能性に関する技術的対応と性能評価に向けた工学技術の役割～(1)回収可能性に対する技術的対応のあり方～：江守稔, 323.
- 連載講座 よくわかる PRA～うまくリスクを使えるために～(1)；確率論的リスク評価の技術課題：丸山結, 喜多利巨, 倉本孝弘, 328.
核セキュリティ入門(2)；核セキュリティ強化に向けた取り組み：須田一則, 木村隆志, 334.
- Short Report GLOBAL2019 国際会議の概要報告：飯塚政利, 高橋優也, 佐々木祐二, 中瀬正彦, 村上毅, 太田宏一, 高木直行, 鷹尾康一郎, 塚原剛彦, 339.
IAEA「長期的な原発使用済み燃料の管理に対する戦略と機会」技術会合に参加して：佐藤勇, 西原健司, 343.
軽水炉燃料国際会議「TOP FUEL2019」の概要：坂本寛, 346.
- Focus 原子力人材育成ネットワークを活用した取り組み；茨城県大洗町における原子力人材育成：中山直人, 348.
- 私の主張 日本の石炭戦略：杉山大志, 350.
- 談 話 室 原子力分野におけるジェンダーバランス改善をめぐる動き— OECD/NEA 国際会議での議論から—：上田欽一, 352.
- ジャーナリストの視点 使いたくない言葉：河村尚志, 354.
- 理事会だより 監事の仕事と雑感：中田耕太郎, 355.
- 会 告 「第 10 回総会」のご通知, 356.
- 会 報 原子力関係会議案内, 次年度会費請求お知らせ, 教育会員募集案内, 英文論文誌 (Vol.57, No.6) 目次, 和文論文誌 (Vol.19, No.2) 目次, 主要会務, 編集後記, 編集関係者一覧, 357.

No.7 (7月号)

- 巻 頭 言 落語絵本「発電お好み焼き横丁」～楽しく学べるエネルギー教育～：山野元気, 361.
- 時 論 コロナが世界を変えつつある：佐田務, 362.

- NEWS 原子力界における最近の動き・国内, 海外情報, 364.
- 解説 米国における廃止措置シーン; 進化する廃止措置ビジネス形態: 澁谷進, 369.
- コラム 映画『Fukushima50』をどう受けとめるか: 井内千穂, 375.
環境問題についての「未来」とは: 小澤杏子, 375.
原子力発電所を国際間でシェアークロアチアの原子力事情: 妹尾優希, 376.
大学進路ミスマッチ予防策: 鳥居千智, 376.
人としてできること: 服部杏菜, 377.
感謝をこめてもてなす「復興五輪」: 服部美咲, 377.
- サイエンスよみもの 火星は生命の誕生と生存に適した環境だった: 福士圭介, 関根康人, 378.
- 連載講座 よくわかるPRA~うまくリスクを使えるために~(2); リスクと不確かさ: 牟田仁, 糸井達哉, 385.
- 報告 可逆性を担保する回収可能性に関する技術的対応と性能評価に向けた工学技術の役割~(2)より確からしい性能評価に向けた工学技術の役割~: 江守稔, 389.
From Editors, 394.
OJEを用いた原子力規制教育の取組み: 北田孝典, 竹田敏, 中村隆夫, 395.
- 談話室 リケジョの思い(11); ここから始めよう: 口町和香, 400.
- 視点(社会)を語る (10); 質問紙調査の魅力と落とし穴: 齋藤圭介, 401.
- ジャーナリストの視点 福島事故と新型コロナ禍: 矢野寿彦, 402.
- 理事会だより 新型コロナウイルス禍に思う: 佐治悦郎, 403.
- 会報 原子力関係会議案内, 次年度会費請求お知らせ, 新入会一覧, 英文論文誌(Vol.57, No.7)目次, 主要会務, 編集後記, 編集関係者一覧, 404.
- 第10回総会資料(後付)

No.8 (8月号)

- 巻頭言 科学・技術と社会の接点: 白川英樹, 407.
- 時論 浦賀沖に見える日本のエネルギー問題: 金田武司, 408.
- NEWS 原子力界における最近の動き・国内, 海外情報, 410.
- 講演 コミュニケーションの基本: 「私」が「私たち」になるとき: 岸田一隆, 416.
- 特集 未来につなぐ福島県の放射線教育の取組み
(1)福島県教育委員会の放射線教育の取組み: 阿部洋己, 421.
(2)探究的に学び, 未来を切り拓くコミュタン福島の放射線教育: 佐々木清, 423.
(3)放射線教育の広がり継続性への課題: 山口克彦, 426.
(4)放射線と福島の現状を学ぶ教育モデルについて: 原尚志, 428.
- 解説 原子力発電新規導入国の原子力人材育成に対する日本の支援の現状: より安全な原子力発電導入へのサポート: 鳥羽晃夫, 430.
- コラム Zoom越しの連帯: 井内千穂, 435.
パンデミックでの気付き: 小澤杏子, 435.
新型コロナウイルスとスロバキア: 妹尾優希, 436.
サイエンスの真髓と“cram”: 鳥居千智, 436.
目に見える, 見えない: 服部杏菜, 437.
「ためにする」批判を見分ける: 服部美咲, 437.
- 解説シリーズ 最先端の研究開発 日本原子力研究開発機構(4); 今こそ, 高速炉の話: 持続性あるエネルギー供給へ: 根岸仁, 上出英樹, 前田誠一郎, 中村博文, 安部智之, 438.
- サイエンスよみもの 電磁ノイズの発生メカニズムの解明と来たるべきノイズレス社会: 土岐博, 442.
- 連載講座 よくわかるPRA~うまくリスクを使えるために~(3); 外部ハザードについて考えるべきこと: 高田孝, 山野秀将, 成宮祥介, 448.
核セキュリティ入門(3); 核セキュリティのための核物質検知技術: 高橋佳之, 小泉光生, 452.
- 報告 福島の若者は原子力に何を感じているか—夢と課題—: 赤尾尚洋, 鈴木茂和, 坪谷隆夫, 嘉齊滯, 重石智大, 457.
福島復興・再生に向けて—震災後9年を振り返る—地元と寄り添う福島特別プロジェクトの活動—: 藤田玲子,

高村昇, 小沢晴司, 461.

From Editors, 466.

Short Report IEA「2019年版世界エネルギー見通し」概要:小林雅治, 467.

理事会だより 理事会の活動について:中島健, 470.

会報 原子力関係会議案内, 人事公募, 新入会一覧, 2020年度役員紹介, 第53回(2020年度)学会賞受賞候補者推薦募集, 英文論文誌(Vol.57, No.8)目次, 主要会務, 編集後記, 編集関係者一覧, 471.

No.9 (9月号)

新会長あいさつ 原子力の信頼回復と未来に向けて:中島健, 475.

巻頭言 福島での人材育成:上昌広, 477.

時論 異分野交流さまざま:防護と治療:坂東昌子, 478.

NEWS 原子力界における最近の動き・国内, 海外情報, 480.

特集 原子力災害による福島農業の現状と課題

(1)農用地における放射能汚染対策の成果と今後の課題:福島県の水稲栽培と農業用水を中心に:申文浩, 486.

(2)原子力災害による被害から営農再開まで:食の安全を確保するために:小山良太, 490.

(3)震災10年以降を見据えて:復興政策の課題:橘清司, 494.

解説 核分裂の理論研究最前線—分裂する原子核の変化する形を追って—:石塚知香子, 千葉敏, 499.

解説シリーズ 最先端の研究開発 日本原子力研究開発機構(5):高温ガス炉システムの実用化をめざして:峯尾英章, 西原哲夫, 大橋弘史, 後藤実, 佐藤博之, 竹上弘彰, 504.

コラム 冊子がいざなう時空の旅:井内千穂, 509.

「防護服」廃炉作業と感染症治療:上野和花, 509.

ビル・ゲイツから学べる準備の大切さ:小澤杏子, 510.

震災と新型コロナ第2波への対策:妹尾優希, 510.

甲状腺スクリーニング検査の意義を改めて問う:服部杏菜, 511.

出口なき誹謗の矢を射るリスク:服部美咲, 511.

講演 高レベル放射性廃棄物等の地層処分場立地可能性調査の受け入れを求めて:原子力発電環境整備機構の対話活動:近藤駿介, 512.

From Editors, 517.

サイエンスよみもの 熔融塩電解で酸化ウランを金属に還元する—金属燃料高速炉への燃料供給に向けた技術開発—:坂村義治, 518.

連載講座 よくわかるPRA—うまくリスクを使えるために—(4):安全目標の現状と今後の課題:山口彰, 成宮祥介, 522.

報告 失敗を許す社会へ:松井亮太, 527.

原子力人材育成ネットワーク活動の国際展開—IAEAの国内ネットワーク構築プロジェクト支援—:山下清信, 中園雅巳, 鳥羽晃夫, 532.

理事会だより 2020年度(令和2年)新たな体制で活動開始:高木宏彰, 535.

会報 原子力関係会議案内, 人事公募, 新入会一覧, 寄贈本一覧, 英文論文誌(Vol.57, No.9)目次, 和文論文誌(Vol.19, No.3)目次, 主要会務, 編集後記, 編集関係者一覧, 536.

No.10 (10月号)

巻頭言 環境放射能の課題:森田昌敏, 541.

時論 With コロナと原子力:他害リスクとの共生:越智小枝, 542.

科学分野におけるダイバーシティの現状と課題:宮浦千里, 544.

NEWS 原子力界における最近の動き・国内, 海外情報, 546.

解説 県外最終処分に向けた技術シナリオの検討:環境放射能除染学会での研究会活動:山田一夫, 有馬謙一, 大迫政浩, 遠藤和人, 551.

燃料挙動解析コードFEMAXI-8の開発と公開:信頼性向上と燃料分野での利用拡大に向けて:宇田川豊, 555.

燃料集合体内の三次元沸騰二相流挙動の可視化:軽水炉三次元熱流動実験設備(SIRIUS-3D)の概要と活用:新井崇洋, 古谷正裕, 560.

解説シリーズ 世界情勢の構造的変化とエネルギー(1):新型コロナウイルスとエネルギー情勢:小宮山涼一, 565.

- Focus 原子力関連国際機関の最近の動向と日本からの期待(1)；OECD/NEA の概観と活躍を増す日本：森田深，大塚伊知郎，舟木健太郎，570.
- コラム 原子力と哲学：井内千穂，575.
 想い描く未来へ：上野和花，575.
 東京都知事選での違和感：小澤杏子，576.
 緊急時下の労働力とは？：妹尾優希，576.
 最適な選択を考える：服部杏菜，577.
 批評家ではなくプレイヤーになる：服部美咲，577.
- サイエンスよみもの 量子力学の不可解な挙動が拓く未来技術—アインシュタインの反抗から量子科学衛星まで—：吉田正，578.
 From Editors，582.
- 連載講座 核セキュリティ入門(4)；核セキュリティを支える核鑑識技術：木村祥紀，583.
 よくわかるPRA～うまくリスクを使えるために～(5)；人間信頼性解析の現状：高橋信，氏田博士，588.
- Short Report 放射線遮蔽工学の体系化と知識の普及；第52回日本原子力学会「貢献賞」を受賞して：上菘義朋，594.
 使用済燃料の貯蔵に係る動向セミナーの開催報告：平尾好弘，栗山和重，松岡猛，598.
 原子力人材育成大学連合ネットワークによる原子力教育：西村章，600.
 2020年米国研修派遣体験記—世界トップレベルの原子力の環境を見て，日本で原子力を志す若者として感じたこと—：和田山晃大，島津美宙，鈴木航介，603.
- 談話室 一步一步の日常(1)；読書と挫折：口町和香，605.
- 視点(社会)を語る (11)；社会調査とプライバシーの微妙なバランス：齋藤圭介，606.
- 理事会だより 学会の経営改善に向けた取り組み：藤澤義隆，607.
- 会報 原子力関係会議案内，人事公募，英文論文誌(Vol.57, No.10)目次，主要会務，編集後記，編集関係者一覧，608.

No.11 (11月号)

- 巻頭言 国際的視点から見るコロナとエネルギー政策：三浦瑠麗，611.
- 時論 これからの原子力；発電・燃料供給・CO₂除去：堀雅夫，612.
- 座談会 1F事故をふりかえり，今後を展望する：井内千穂，井上正，小出重幸，佐田務，佐治悦郎，滝順一，竹内純子，田中治邦，松浦祥次郎，藤田玲子，山口彰，澤田哲生，614.
- NEWS 原子力界における最近の動き・国内，海外情報，630.
- 解説 緊急時海洋環境放射能評価システムの開発；海洋拡散の迅速な予測を可能に：小林卓也，川村英之，上平雄基，635.
 3次元有限要素法による2011年東北地方太平洋沖地震本震時の東京電力福島第一原子力発電所1号機の応答解析：吉村忍，山田知典，宮村倫司，640.
 From Editors，644.
- 解説 福島第一原子力発電所廃炉作業環境における遠隔放射線イメージング技術の開発と実証；統合型放射線イメージングシステムiRISの構築：佐藤優樹，寺阪祐太，鳥居建男，645.
 乾式再処理による照射済金属燃料からのマイナーアクチノイド回収；高速炉サイクルによるマイナーアクチノイド分離変換システムの確立に向けて：村上毅，飯塚政利，650.
- コラム オンライン座談会の効用：井内千穂，655.
 震災を風化させないために：小澤杏子，655.
 「命か経済か」じゃなくて「どちらも命」：佐治悦郎，656.
 勉強ができて良いこととは？：鳥居千智，656.
 持続可能な社会を目指して1～土壌づくり～：野ヶ山康弘，657.
 「バベルの塔」の後を生きる：服部美咲，657.
- 解説シリーズ 最先端の研究開発日本原子力研究開発機構(6)；廃止措置と廃棄物の処理処分を目指して(1)；低レベル放射性廃棄物の処理処分とウラン鉱山閉山措置に関する技術開発：辻智之，杉杖典岳，佐藤史紀，松島怜達，片岡頌治，岡田翔太，佐々木紀樹，井上準也，658.
- 連載講座 よくわかるPRA～うまくリスクを使えるために～(6/最終回)；データを用いた不確かさの推定：桐本順広，664.

- Focus 原子力関連国際機関の最近の動向と日本からの期待(2)；NEA 活動から見る原子力安全の国際動向：熊谷裕司，齋藤智之，669.
- 報 告 新設軽水炉で実現すべき技術要件について—新設でこそできる安全かつ合理的な設計を目指して—：原子力発電部会「次期軽水炉の技術要件検討」WG，674.
世代間対話を通じた原子力技術と文化の伝承；学生・教員とシニアとの対話活動：大野崇，松永一郎，若杉和彦，石井正則，679.
- 理事会だより 学会における人材育成，教育委員会の紹介：宇埜正美，684.
- 会 報 原子力関係会議案内，「2021 年春の年会」開催に関するお知らせ，新入会一覧，寄贈本一覧，「2020 年秋の大会」学生ポスターセッション受賞者一覧，人事公募，英文論文誌(Vol.57, No.11)目次，主要会務，編集後記，編集関係者一覧，685.

No.12 (12月号)

- 巻 頭 言 2050 年カーボン・ニュートラルに向けて：豊田正和，689.
- 時 論 太陽光発電導入の今後を憂う～三重の苦にどう対応するのか～：帆足興次，690.
- NEWS 原子力界における最近の動き・国内，海外情報，692.
- 特 集 外部被ばくの放射線防護における電量概念の変遷と展望
(1)外部被ばくの放射線防護の線量体系：岩井敏，石田健二，高木俊治，猪狩貴史，原口和之，村野井友，698.
(2)防護量の変遷と今後の見通し：岩井敏，石田健二，高木俊治，猪狩貴史，原口和之，村野井友，703.
(3)実用量の変遷と今後の変更：岩井敏，石田健二，高木俊治，猪狩貴史，原口和之，村野井友，708.
- 解 説 福島復興に向けた除染のあゆみ—震災後 9 年を振り返る—：中尾淳，Evrard Olivier，712.
高放射線・狭隘環境での線量率分布の遠隔測定を可能とする光ファイバ型線量率計測技術：上野克宜，岡田聡，田所孝広，717.
ドローンを活用した送電線と樹木の離隔の評価：中屋耕，722.
- 解説シリーズ 最先端の研究開発日本原子力研究開発機構(7)；地層処分に関する最新の研究開発の動向(2)；棚井憲治，望月陽人，花室孝広，清水麻由子，三原守弘，727.
- コ ラ ム 良い話し合いとは：今中咲幸，732.
持続可能な社会を目指して 2～教育現場の実情～：野ヶ山康弘，732.
組織的な教育が個人に与える影響を考える：服部杏菜，733.
ポストコロナへの眼差し：科学教育：坂東昌子，733.
人間としての責任：松本杏奈，734.
予防原則と ALARP の共通点：山口 彰，734.
- 報 告 放射線防護関連学会の合同アンケート調査で明らかになった人材確保・育成の課題：神田玲子，飯本武志，甲斐倫明，児玉靖司，小林純也，酒井一夫，富永隆子，中島覚，細井義夫，松田尚樹，杉浦紳之，百瀬琢磨，吉澤道夫，735.
- 連載講座 核セキュリティ入門(5)；原子力安全と核セキュリティ(2S)のインターフェース：出町和之，741.
- Focus 原子力関連国際機関の最近の動向と日本からの期待(3)；NEA における廃止措置と放射性廃棄物管理の諸課題：東原知広，倉田拓音，小泉まどか，745.
- 理事会だより 秋の大会 Web 開催実施報告，千葉敏，750.
- 会 報 原子力関係会議案内，人事公募，2021・2022 年度代議員候補者推薦について，2021 年度フェロー候補推薦募集，訃報，誤訂訂正，英文論文誌(Vol.57, No.12)目次，和文論文誌(Vol.19, No.4)目次，主要会務，編集後記，編集関係者一覧，751.

総目次・著者名索引(Vol.62, Nos.1~12)(後付)